

2014年12月10日

ご関係各位

「蒼きウル」への参画について

Duckbill Entertainment Pte. Ltd.

株式会社ダックビル・エンタテインメント

平素はダックビル・エンタテインメント・グループ（以下「弊グループ」）に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、株式会社ガイナックスより制作開始が発表された劇場版アニメーション作品「蒼きウル」（以下「本作品」※「別紙」参照）に関し、この度弊グループはその製作主体である **Uru in Blue LLP** の運営をサポートしていくことになりました。

弊グループは、これまでに携わってきた映像系コンテンツ制作における知見や、アニメーション作品「あらしのよるに」の製作主体となった **One Stormy Night LLP** の運営に際してのノウハウなどを活かしながら、本作品の成功に向けて尽力していく所存です。ご関係各位におかれましては引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

(別紙)

報道関係者各位

プレスリリース

2014年12月4日

株式会社ガイナックス / Uru in Blue LLP

「GAINAX」がついに「蒼きウル」の制作を開始！ 劇場版アニメとして2018年世界同時公開を予定。 世界のクリエイターと協業！

2018年、全く新しい戦闘機アニメーションがテイクオフする。

GAINAXは同社の創立30周年企画作品として「蒼きウル」の制作を開始した。同社の劇場版アニメーション作品「王立宇宙軍～オネアミスの翼」(1987)の後の世界が描かれる。山賀博之が監督・脚本を担当し、「新世紀エヴァンゲリオン」などの貞本義行がキャラクターデザインを手掛ける。

2015年春に先行短編である Overture 版、そして2018年には本編の世界同時公開が予定されている。

今回の「蒼きウル」の製作にあたっては、日本で多用される製作委員会方式をとらず、シンガポールにLLP(名称:Uru in Blue LLP)を設立した。このLLPを製作主体として世界中から資金と人材を集め、世界市場を狙うオリジナル劇場版アニメーションを製作する。

監督の山賀博之は、『蒼きウル』はGAINAXにとっても特別な作品。技術的にも制作方式についても新機軸を打ち出したい。世界中の新しい技術を使い、世界中の優れたクリエイターたちと一緒に制作していきたい」と語っている。

制作の概要については2014年12月5日から3日間シンガポールで行われるAnime Festival Asia 2014で発表される。



■本リリースに関するお問い合わせ

株式会社ガイナックス 担当：浅尾・キム

Uru in Blue LLP 担当：長橋

E-mail : uru@gainax.co.jp

Facebook : <https://www.facebook.com/aokiuru.gainax>

(※) LLP とは

リミテッド・ライアビリティ・パートナーシップ (Limited Liability Partnership) の略称。

特定の事業を目的とする組合契約を基礎に形成された企業組織体。